

ふくい街角景気速報

(令和8年4月分)

調査期間 令和8年4月17日～24日 (回答率: 90%)

概況

景気の現状判断DIは41.4となり、前月と比べ2.8ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは35.0となり、前月と比べ3.3ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 41.4 (前月比 ▲2.8)

- 家計動向関連では、前月に比べ 5.4 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 0.7 ポイント増加した。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.2 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

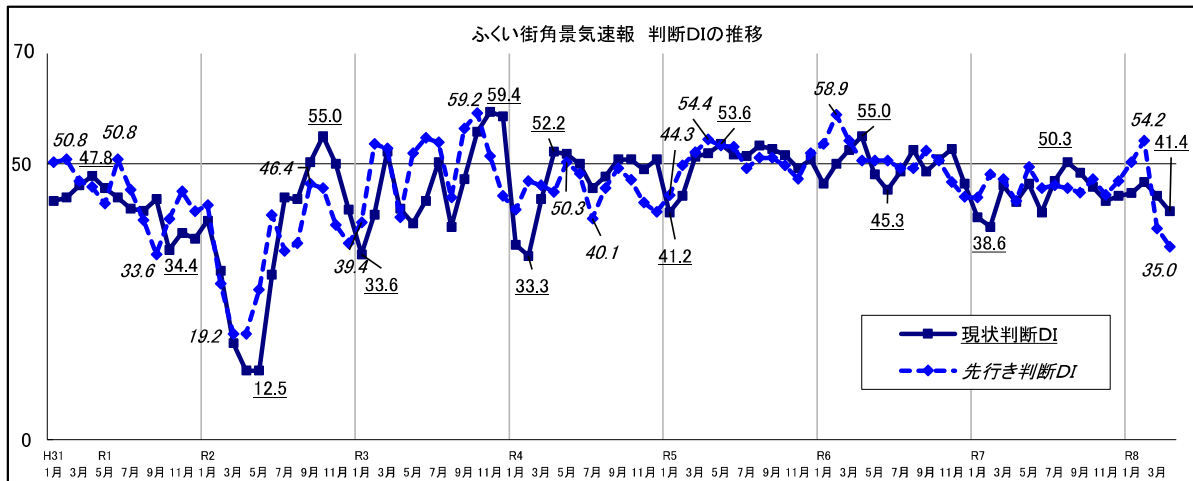
- 今月の前半に春休みなどがあつたが、商品の動きが思っていたより鈍いと感じる。(観光物産関係)
- 物価高騰にて、取引業者からの値上げの連絡が多い。(百貨店、SC等)
- ガソリン価格の高騰などの要因で、必要なもの以外は消費者の節約志向がさらに高まり、消費マインドが落ち込んでいる。(スーパー)

■景気の先行き判断DI 35.0 (前月比 ▲3.3)

- 家計動向関連では、前月に比べ 3.8 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 0.7 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 9.1 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

- 中東情勢の影響により、原材料価格の高騰や入手困難、納期遅れが起こる可能性は高く、販売先の景気状況も悪化方向に向かうと思われる。(電気機械関連)
- 原油価格高騰の影響は今後も続くものとみられ、価格転嫁が難しい場合は経営圧迫が予想される。(銀行等金融関連)
- ホルムズ海峡封鎖の影響で企業の生産活動の低下に伴う物量の減少が見込まれる。(運輸関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	11	12	R8 1	2	3	4	(前月差)
合計		43.3	44.2	44.7	46.7	44.2	41.4	▲2.8
家計動向関連		43.2	43.2	44.6	42.0	46.2	40.8	▲5.4
小売		43.1	42.9	48.4	43.5	45.7	40.0	▲5.7
飲食		50.0	45.8	43.8	33.3	41.7	45.8	+4.1
サービス		40.9	42.5	32.5	42.5	50.0	40.0	▲10.0
企業動向関連		40.0	43.6	44.1	50.8	43.2	43.9	+0.7
製造業		36.0	41.0	43.0	50.0	42.7	45.7	+3.0
非製造業		50.0	50.0	47.2	52.8	44.4	40.0	▲4.4
雇用関連		54.5	50.0	47.5	55.0	38.6	36.4	▲2.2

○回答別構成比

	年 月	11	12	R8 1	2	3	4	(前月差)
良くなっている		0.0%	2.2%	2.2%	1.1%	1.1%	1.1%	+0.0
やや良くなっている		13.3%	12.2%	11.1%	13.3%	14.4%	13.3%	▲1.1
変わらない		57.8%	51.1%	55.6%	60.0%	52.2%	44.4%	▲7.8
やや悪くなっている		17.8%	28.9%	25.6%	22.2%	24.4%	32.2%	+7.8
悪くなっている		11.1%	5.6%	5.6%	3.3%	7.8%	8.9%	+1.1

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	11	12	R8 1	2	3	4	(前月差)
合計		44.4	46.9	50.3	54.2	38.3	35.0	▲3.3
家計動向関連		46.6	48.3	53.3	53.7	39.1	35.3	▲3.8
小売		49.1	49.1	51.6	53.2	37.1	36.7	▲0.4
飲食		43.8	45.8	62.5	54.2	37.5	29.2	▲8.3
サービス		40.9	47.5	55.0	55.0	45.5	35.0	▲10.5
企業動向関連		39.3	43.6	44.1	52.3	34.8	34.1	▲0.7
製造業		37.0	40.0	42.0	51.0	36.5	37.0	+0.5
非製造業		45.0	52.5	50.0	55.6	30.6	27.5	▲3.1
雇用関連		52.3	52.3	57.5	62.5	45.5	36.4	▲9.1

○回答別構成比

	年 月	11	12	R8 1	2	3	4	(前月差)
良くなる		0.0%	1.1%	2.2%	2.2%	0.0%	1.1%	+1.1
やや良くなる		18.9%	18.9%	18.9%	28.9%	16.7%	13.3%	▲3.4
変わらない		51.1%	53.3%	58.9%	55.6%	33.3%	26.7%	▲6.6
やや悪くなる		18.9%	20.0%	17.8%	10.0%	36.7%	42.2%	+5.5
悪くなる		11.1%	6.7%	2.2%	3.3%	13.3%	16.7%	+3.4

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
①良くなっている	企業動向	坂井	一般機械関連	化学工場や食品工場において製品品の設備投資が急増している。	
②やや良くなっている	家計動向	福井	観光関係	季節要因により交流人口が増加しているように感じている。しかしながら、ビジネスでの流入はそこまで活発ではない。また、レジャー等の観光についても土曜日のみであり平日の動きは鈍い。また、外部環境が悪化していることも影響し消費活動は抑え気味である。	
	企業動向	福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、輸出向けに北米および欧州等多くの地域で回復しており、受注が増加している。	
	雇用	嶺南	就職情報誌	北陸新幹線開業の影響のため。	
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	今年は花見の時期が短く、天候も不安定だったため、シニア層の来店・購買動向は低調だった。一方、キャリア系ブランドはブランドごとに好不調の差が見られるものの、3月後半から4月上旬にかけて実施したバーゲンの効果により、20代の動きは良好であった。	
		福井	百貨店、SC等	ギフトなどの進物需要は好調を維持しているが、中心はカタログギフトであり、食器やタオルといった商品の需要は年々減少している。また、化粧品に関しては、メイク系ブランドが好調であり、SNSでの情報発信が購買につながっていると考えられる。	
		福井	百貨店、SC等	惣菜は引き続き苦戦しており、定価販売での消化が鈍く、値下げを待つ顧客が増えている印象がある。これは値上げの影響とみられる。一方で全国的に知名度の高い菓子は好調である。全体として、日常的な商品については消費を抑える傾向がある一方、嗜好性の高い商品や欲しいものにはしっかりとお金をかける傾向が見られる。	
		嶺南	百貨店、SC等	プレミアム付デジタル商品券で上昇したが、販売終了後元の水準に戻った。	
		坂井	観光物産関係	今月の前半に春休みなどがあったが、商品の動きが思っていたより鈍いと感じる。	
		嶺南	飲食関連	ガソリン価格が落ち着いてきたが、物価がさらに上がってきたためどちらとも言えない。	
		嶺南	観光関係	昨年は万博の影響や大災害に関する予言などにより、動向が不安定だった。一方、今年は年初から順調に推移している。	
	企業動向	福井	一般機械関連	米国・英国を中心に商談や受注は順調である。	
		丹南	電気機械関連	各国間の情勢が不安定化しているが、企業活動には大きな影響としてまだ表れていない。	
		福井	銀行等金融関連	原油価格の高騰により、製造業や運送業といった直接的な影響に加え、卸売業や販売業など幅広い業種にも間接的な影響が見られている。現時点では大きな対応は必要ないものの、今後の動向については引き続き注視が必要である。	
		福井	運輸関連	企業間物流の物量に大きな変化はない。	
	雇用	嶺南	学校就職担当者	初任給引き上げと採用抑制の動きが見られ、大きな変化はない。	
	④やや悪くなっている	家計動向	奥越	一般小売店	中東情勢の影響により、さまざまな商品の供給が滞り、その結果として物価上昇が進行している。
			嶺南	一般小売店	アメリカとイランの紛争により、ホルムズ海峡の封鎖懸念が高まっている。これに伴う物価上昇への不安が強い。
奥越			百貨店、SC等	物価高騰にて、取引業者からの値上げの連絡が多い。	
福井			スーパー	ゴールデンウィークを控え、やや節約志向と見られる。	
坂井			スーパー	ガソリン価格の高騰などの要因で、必要なもの以外は消費者の節約志向がさらに高まり、消費マインドが落ち込んでいる。	
企業動向		嶺南	商社	物価高騰に個人所得が追いついていない。	
		福井	その他製造関連	材料費値上に対して顧客への値上げ交渉が今後の受注減につながるため。	
雇用		坂井	自治体労働政策担当課	物価の上昇が著しく、購入したくても価格面で手が出せない状況が広がっている。	
	丹南	自治体労働政策担当課	中東情勢を踏まえ、製造業や建設業を中心に企業訪問した結果、多くの中小企業者が仕入原価の高騰や材料不足などの影響を受けていると答えている。		
⑤悪くなっている	家計動向	坂井	観光関係	原油高、物価高による国内旅行の低迷のため。	
	企業動向	福井	商社	原油価格高騰と石油製品の品不足のため。	

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
② やや良くなっている	家計動向	丹南	百貨店、SC等	物価高、燃料高に加え物資(材料)不足まで出始めているが、そろそろ歯止めがかかると期待している。
		嶺南	観光関係	予約は引き続き順調に入っており、海外情勢の不安定な情報についても、現時点では大きな影響は見られない。ただし、材料費などの高騰により、営業利益面では不安定さが残っており、先行きへの懸念は払拭できていない。
		坂井	観光関係	プール営業の期間になるので多くの入場を想定しているが、ガソリンの高騰でマイカー来園に影響がないか懸念がある。
	企業動向	福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、輸出向けに北米および欧州等多くの地域で回復しており、暫く受注が増加する見込みである。
	雇用	嶺南	就職情報誌	北陸新幹線開業で観光客やビジネスマンが多くなっている。
③ 変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	今年も猛暑が見込まれ、機能性を重視した商品の需要は高まると考えられる。しかし、今年ならではの目新しいファッショントレンドが見られないうえ、価格上昇も予想されることから、全体としては厳しい状況になると見込まれる。
		福井	百貨店、SC等	揚げ物を自宅できなくなり惣菜が売れる傾向である。賃上げと食品価格の伸びは鈍化で持ち直してくれるかは不透明であるが、節約志向は続くと思う。
		坂井	スーパー	今後の中東情勢次第ではあるが、当面は様子見の姿勢が続くと思われるので、消費マインドに大きな変化はないものと考えている。
		嶺南	飲食関連	季節要因の影響は大きく、イベントやゴールデンウィークなどの時期には人出が増える傾向がある。一方で、梅雨や大雨の時期であっても、人の動き自体は一定程度保たれており、来店動向の振れ幅は比較的広いと感じられる。
	企業動向	丹南	眼鏡関連	シンナー、機械油、潤滑油、包装資材などの出荷制限・停止が発生している事から生産が制限されたりなどの懸念される要素がある。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	主要企業の選考が一段落する時期に入るが、採用意欲は急減しないため。
④ やや悪くなっている	家計動向	嶺南	百貨店、SC等	中東情勢影響による各種値上げの影響が出てくることが予想され、生活防衛意識が強まる。
		福井	コンビニエンスストア	石油製品の価格高騰や品切れ、輸入コストの増加により、経費面での負担が拡大しており、今後の景気への悪影響が懸念される。
		坂井	観光物産関係	中東情勢の影響による物価上昇が進むと、土産物等の購入を控える動きが強まる。
		嶺南	飲食関連	じわじわと物価上昇の影響を受けて値上げを検討、実施する飲食店やほかの業種が増えていくと思う。
	企業動向	坂井	繊維関連	中東情勢の影響で、原料、燃料の高騰、供給不安が考えられるため。
		福井	眼鏡関連	一部のカラーについて生産ができなくなると聞いており、今後は値上がりに加え、入荷が計画どおりに進まなくなる可能性がある。
		福井	一般機械関連	受注は確保しているが、現在の石油輸入状況により石油由来の部品供給に問題があると生産が止まる恐れがあるため。
		丹南	電気機械関連	中東情勢の影響により、原材料価格の高騰や入手困難、納期遅れが起こる可能性は高く、販売先の景気状況も悪化方向に向かうと思われる。
		福井	銀行等金融関連	原油価格高騰の影響は今後も続くものとみられ、価格転嫁が難しい場合は経営圧迫が予想される。
		福井	運輸関連	ホルムズ海峡封鎖の影響で企業の生産活動の低下に伴う物量の減少が見込まれる。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	国からの経済対策交付金を活用した商品券発行事業を7月から実施することで景気回復を図るものの、このままの中東情勢が続けば、原材料等が不足し業務が行えない市内事業者もでてくる可能性も高く、生活必需品以外の買い控え等につながり、交付金活用で想定した消費行動は期待できない。
		福井	ジョブカフェ担当者	中東情勢の煽りを受けた物価高騰の影響が着実に企業へ波及しており、混乱の終結も見い出せない先行き不安がある。万が一にもこの影響が長く継続すれば、業績悪化による事業縮小や倒産などがリストラや雇用縮小に影響することも危惧される。
⑤ 悪くなっている	家計動向	坂井	観光関係	原油高、物価高による国内旅行需要低迷が続くと予想される。
	企業動向	福井	繊維関連	イラン情勢によって、原材料や燃料が影響を受けているため。
		福井	化学・プラスチック関連	中東問題により資材費が膨らむため。
		福井	商社	石油製品の仕入に規制がかかり入荷しない。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブステーション担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)